

令和4年度 第75回大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について
【 15 柔道競技 】

1 競技会感染対策ガイドラインについて（参考ガイドライン）

○全日本柔道連盟 新型コロナウイルス感染対策委員会・医科学委員会 2021/04/20

「 新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version3.1） 」

○大分県新型コロナウイルス感染症対策本部 2021/05/26

「 新型コロナウイルス感染症に関する今後の対応について 」

○令和3年度大分県民体育大会実行委員会 2021/06/08

「 令和3年度大分県民体育大会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン【第1版】 」

2 競技運営上での感染対策について

①受付について

(ア) 受付には、手指消毒用のアルコールを設置する。

(イ) 各都市監督(代表者)は受付にて、検温を受け、健康チェックシートを提出する。

(ウ) 競技会場内に入るすべての関係者には検温と手指消毒を求める。

(エ) 健康チェックシートの対応については以下の通りとする。

- ・チェックシートにより、会場地入り前までの体温等の記録および当日の体調について問題がないことに加え、当日の検温の際に発熱、風邪症状、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさや倦怠感、味覚嗅覚の異常等の症状がないかを確認する。
- ・チェックシートで体調不良者または症状が確認された者については、入場できない、入場を許可しないものとする。

②選手の更衣について

(ア) 男子選手の更衣はフェンシング場とする。

(イ) 女子選手の更衣は柔道場の男女更衣室とする。

③試合前のアップについて

(ア) 試合前のアップ時はマスクの着用を推奨するよう、放送を行う。ただし、体調不良、酸素不足や熱中症が予想されるので、適宜周囲との十分な距離を確保し、マスクを外したり、ずらしたりしながら呼吸を整えることは各選手の判断として認める。

(イ) 大きな発声をとまなうアップについては控えるよう、放送を行う。

④開閉会式について

(ア) 開会式の参加は各都市エントリー選手のみとし、選手同士の十分な距離を確保する。

(イ) 閉会式の参加は男女ともに優勝都市の選手のみとし、その他の入賞都市は監督(代表者)に賞状を渡すこととする。

(ウ) 開閉会式ともに時間をかけずに簡易で行う。

⑤試合前後(試合間)について

試合前

- (ア) 選手は自郡市の試合の2試合前から柔道場に入ることとする。その際は第3試合場(入口より最奥の試合場)で待機する。
- (イ) 審判員より目視で柔道衣コントロールを受ける。
- (ウ) 試合前は各自で必ず手指消毒を行う。

試合中

- (ア) 選手には大きな発声をしないよう、自粛を求める。
- (イ) 対戦をしている選手以外にも大きな声での会話や応援等をしないよう、自粛を求める。特に試合中の監督による指示や指導については⑩の(ア)にもとづいた言動を求める。

試合後

- (ア) 試合終了後は速やかに待機場所への移動を求める。
- (イ) 帰宅後は全身をシャワーで洗うこと、柔道衣や衣服の洗濯、用具の消毒等の実施を推奨する。

⑥大会役員について

- (ア) 大会中は常時マスクを着用する。
- (イ) 必要のない会話は控え、座席は十分な距離を確保できるよう、配置する。

⑦審判員について

- (ア) 審判中は常時マスクを着用する。
- (イ) 必要のない会話は控え、座席は十分な距離を確保できるよう、配置する。
- (ウ) 試合中は審判員同士や選手との十分な距離(少なくとも2m以上の距離)を確保する。

⑧補助員について

- (ア) 大会中は常時マスクを着用する。
- (イ) 必要のない会話は控え、座席は十分な距離を確保できるよう、配置する。

⑨監督・選手について

- (ア) 大会中は常時マスクを着用する。ただし、試合を行う選手はこれを除外する。
- (イ) 必要のない会話は控え、十分な距離を確保し、待機する。

⑩来場者について

- (ア) 本大会は無観客とする。ただし、各郡市スポーツ協会関係者および各社報道関係者の入場は認めるが入場時に検温を行い、発熱症状等がある場合は入場を認めないこともある。
- (イ) 来場を許可された関係者は常時マスクを着用する。
- (ウ) 必要のない会話は控え、座席は十分な距離を確保できるよう、配置する。

⑪競技会場について

- (ア) 柔道場内は窓を開け、十分な換気を行う。
- (イ) 入口に手指消毒用のアルコールを設置し、会場に入る際は必ず消毒を行うよう、呼びかける。

⑫手洗い・トイレについて

- (ア) 手洗い場にはポンプ型の石鹸を事務局で準備する。

⑬大会役員・審判員等の控室について

- (ア) 大会役員・審判員等の控室における座席は十分な距離を確保できるよう、配置する。
- (イ) 飲食時以外はマスクを着用するよう、大会当日の監督・審判会議において周知する。

⑭大会で使用する道具の取り扱いについて

- (ア) 柔道衣コントロールについては、選手を集合させ一斉には行わない。各試合前に審判員が目視で確認する。疑義が生じた場合は各試合場で審判員が測定器を用いて検査を行う。
- (イ) 試合で使用する紅白帯は各郡市で持参することを義務付ける。
- (ウ) 畳の消毒を男子予選リーグ終了後に行う。

⑮飲食について

- (ア) 試合場内での飲食は厳禁とする。水分補給については、観客席のみ認める。その際は、周囲と十分な距離を確保し、対面での会話を控える。
- (イ) 飲食終了後は速やかにマスクを着用する。

⑯本ガイドラインの周知徹底について

- (ア) 大分県民スポーツ大会実行委員会より各郡市スポーツ協会に本ガイドラインがメール送信され、各担当者への周知を図る。
- (イ) 大会役員、審判員、補助員は案内文書を送付する際に健康チェックシートおよび本ガイドラインを同封し、周知を図る。
- (ウ) 大会当日の監督・審判会議において、再度注意事項を事務局から説明する。
- (エ) 大分県柔道連盟のホームページに本ガイドラインをアップする。

⑰その他

- (ア) 国内外を問わず、国際柔道連盟試合審判規定で行われる試合では、試合中断中(主審の「待て」から「はじめ」までの間)以外での監督・コーチの発声については、審判員から厳しくコントロールされている。本大会においても、ルール上の運営と感染拡大防止ということを念頭に入れ、試合中の大声での指示、指導は禁止とし、審判員に注意と退場の権限を与える。
- (イ) 大会終了後の翌日から14日の間に、選手・監督・コーチ等から新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は、所属チームの監督を通じて、郡市スポーツ協会感染症対策の責任者へ速やかに報告する。